第２次朝霞市立図書館サービス基本計画

平成２８年３月

朝霞市教育委員会

目　次

第１章　計画策定の背景と目的 …… １

第２章　朝霞市立図書館の現況と課題 …… ２
　１．図書館の概要 …… ２
　２．図書館サービスに関するニーズ ……１２

第３章　図書館サービスの基本方針 ……２２
　１．計画の基本的考え方 ……２２
　２．計画の位置付けと期間 ……２２
　３．朝霞市立図書館の将来像……２４

第４章　図書館サービス基本計画 ……２５
　【計画の体系】 ……２５
　１．計画的な蔵書管理 ……２６
　２．資料・情報提供サービスの充実 ……２７
　３．利用者に応じた図書館サービスの充実 ……２８
　４．図書館機能の向上 ……３０

第５章　基本計画の推進に向けて ……３２

第１章　計画策定の背景と目的

本市の図書館は、朝霞市立図書館（本館）、北朝霞分館及び公民館図書室（東朝霞公民館・西朝霞公民館・南朝霞公民館・北朝霞公民館・内間木公民館）があり、様々な形で市民に利用されています。

そして、生涯学習ニーズの高まりから、図書館は市民の自主的な学習を支援する施設として、地域文化活動の拠点としての重要性が増しています。

また、インターネットやデジタル技術の普及など、高度な情報化社会を背景に図書館利用者のニーズもさらに多様化しています。

このような新たな状況を踏まえ、朝霞市立図書館では、平成２３年度から平成２７年度までの５カ年の「朝霞市立図書館サービス基本計画」を策定し実行して参りました。しかし、この計画が平成２７年度末で終了することから、新たな５カ年計画である「第２次朝霞市立図書館サービス基本計画」を策定することとなりました。

この「第２次朝霞市立図書館サービス基本計画」は、第５次朝霞市総合計画や朝霞市教育振興基本計画・朝霞市生涯学習計画を踏まえ、市民のために、将来の図書館のあり方・方向性を示し、より魅力的で利用しやすい図書館を運営していくため、今後さらなる図書館サービスの充実を図ることを目的としています。

こうしたことから、朝霞市立図書館としては、この計画の策定にあたり「朝霞市立図書館サービス基本計画」を踏まえ、今後の新しい時代の動向を見極め、時代の変化にあったより良い図書館サービスを行っていくことが重要であると考え、利用者アンケートや市民モニターによるアンケートなどから課題を抽出し、朝霞市立図書館協議会で協議しました。

そして、「第２次朝霞市立図書館サービス基本計画」は、前計画の理念を継続することとし、今後もより良い図書館サービスの指針として策定しました。

第２章　朝霞市立図書館の現況と課題

１．図書館の概要

朝霞市には、朝霞市立図書館（本館）を中央館として、北朝霞の産業文化センター内に北朝霞分館があるほか、市内５つの公民館にも図書室を配置し、これらのネットワークでサービスを行っています。

１）図書館施設の概要

■朝霞市立図書館（本館）

①所　在　地	埼玉県朝霞市青葉台１－７－２６
②工　　期	着工：昭和６１年６月３日　竣工：昭和６２年３月２５日
③開館年月日	昭和６２年１０月３１日
④敷 地 面 積	3,500.01 ㎡
⑤建 築 面 積	2,520.59 ㎡
⑥延 床 面 積	2,769.44 ㎡
⑦開 架 面 積	1,417.54 ㎡
⑧書 庫 面 積	253.42 ㎡
⑨構 造 規 模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造り平屋建一部２階地下１階
⑩施 設 概 要	成人コーナー、ティーンズコーナー、くつろぎコーナー、郷土行政資料コーナー、AV コーナー、児童コーナー、視聴覚室、和室、展示兼集会室

■北朝霞分館

①所　在　地	埼玉県朝霞市大字浜崎６６９－１　朝霞市産業文化センター内２階
②床　面　積	513.65 ㎡
③外書庫面積	44.80 ㎡
④開館年月日	平成１１年８月１日
⑤施 設 概 要	一般書コーナー、児童コーナー、ビジネス支援コーナー

２）図書館の利用状況

（１）図書館の利用状況

図書館資料の貸出点数は、平成 18 年度に本館の月曜休館、分館の木曜休館を廃止し、大幅に開館日が増えたことにより、開館以来始めて 100 万点を突破しました。その後も増加傾向が続きましたが、平成２１年度をピークに減少傾向にあります。

また、各館別の利用状況をみると本館が全体の約 6 割、分館が約３割、各公民館が約１割となっています。

■資料別貸出数の推移

	一般書	児童書	紙芝居	雑誌	視聴覚	合計
平成 18 年度	616,320	271,700	11,835	54,865	67,876	1,022,596
平成 19 年度	626,204	272,484	10,693	55,237	64,323	1,028,941
平成 20 年度	637,277	284,451	11,951	54,429	65,141	1,053,249
平成 21 年度	664,848	301,166	11,617	55,976	63,948	1,097,555
平成 22 年度	638,839	294,816	10,856	53,981	65,675	1,064,167
平成 23 年度	630,141	298,166	10,109	53,801	62,455	1,054,672
平成 24 年度	618,950	308,583	9,852	55,592	57,773	1,050,750
平成 25 年度	584,149	300,547	9,406	53,734	50,141	997,977
平成 26 年度	565,577	301,888	9,646	49,394	45,663	972,168

■各館別利用状況（平成 26 年度）

	貸出点数	利用者数	予約点数	登録者数	返却点数
図書館本館	611,380	178,992	120,779	3,164	550,973
北朝霞分館	266,528	73,587	10,596	1,100	258,553
東朝霞公民館	20,351	5,854	603	57	24,305
西朝霞公民館	16,533	4,410	385	84	19,628
南朝霞公民館	14,863	4,439	363	33	18,975
北朝霞公民館	35,826	11,324	1,293	89	50,197
内間木公民館	6,687	1,951	276	21	8,192
合　計	972,168	280,557	134,295	4,548	930,823

（２）図書館の利用登録者数

有効登録者数は 108,534 人となっており、実質登録者数（１年以内に１回以上の利用があった利用者）は 28,306 人で全体の 26%となっています。

,

■登録者数の推移

	有効登録者数（人）	実質登録者数（人）
平成 18 年度	88,262	32,011
平成 19 年度	93,715	31,679
平成 20 年度	90,407	31,572
平成 21 年度	90,393	34,008
平成 22 年度	90,317	30,876
平成 23 年度	94,609	30,104
平成 24 年度	99,455	29,887
平成 25 年度	104,098	28,773
平成 26 年度	108,534	28,306

町丁・字別図書館実質登録者でみると、図書館本館近くの栄町・本町、分館近くの大字浜崎・北原の登録率が高くなっています。

■町丁・字別実質登録者数

町丁・字名	人口	登録者	登録率
大字上内間木	1,270	118	9.3%
大字下内間木	262	29	11.1%
大字台	6	0	0%
大字根岸	19	0	0%
根岸台1～8	15,600	2682	17.2%
仲町1～2	3,819	686	18.0%
大字岡	47	5	10.6%
岡1～3	7,081	1,179	16.7%
本町1～3	12,893	2,863	22.2%
栄町1～5	9,730	2,234	23.0%
大字膝折	0	0	0%
膝折町1～5	11,600	1,921	16.6%
幸町1～3	5,685	1,102	19.4%
大字溝沼	362	54	14.9%
溝沼1～7	11,596	2,161	18.6%
大字田島	0	1	0%
田島1～2	2,594	329	12.7%
西弁財1～2	2,048	323	15.8%
東弁財1～3	3,318	645	19.4%
泉水1～3	5,172	906	17.5%
三原1～5	15,082	2,051	13.6%
大字宮戸	65	2	3.1%
宮戸1～4	9,552	1,374	14.4%
大字浜崎	61	38	62.3%
浜崎1～4	3,094	595	19.2%
西原1～2	2,202	398	18.1%
朝志ヶ丘1～4	8,770	1,540	17.6%
北原1～2	2,193	450	20.5%
青葉台1	108	12	11.1%
自衛隊	480	3	0.6%
合計	134,709	23,701	17.6%

資料：平成 27 年 4 月 1 日現在

朝霞市立図書館の登録者数の 83.7%は市内居住者です。また、在勤・在学者の利用もできることや平成５年からはヤ朝霞地区４市（朝霞市、志木市、和光市、新座市）の図書館の相互利用が可能となったことから、16.3%が市外居住者となっています。

■居住地別登録者数

登録者の居住地域

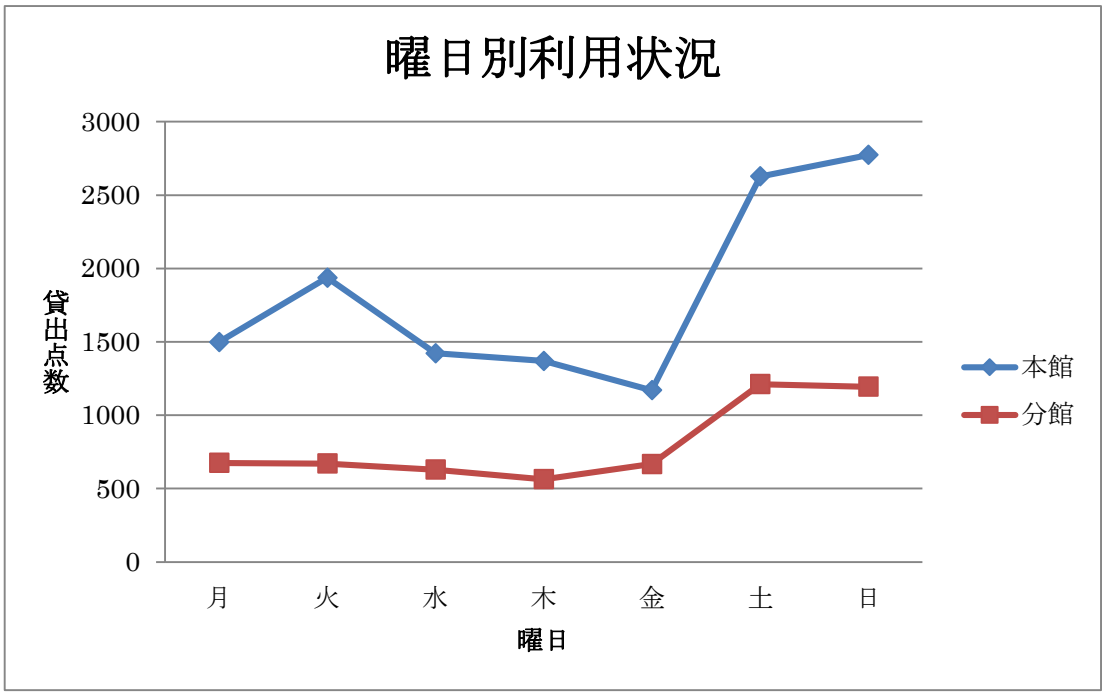
居住地	登録者数	構成比
朝霞市	23,701	83.7%
志木市	835	2.9%
新座市	1,904	6.7%
和光市	1,430	5.1%
さいたま市	24	0.1%
川越市	17	0.1%
富士見市	31	0.1%
三芳町	5	0.0%
ふじみ野市	18	0.1%
その他埼玉県	42	0.1%
板橋区	8	0.0%
練馬区	101	0.4%
その他東京都	65	0.2%
その他	125	0.4%
合　計	28,306	

資料：平成 27 年 4 月 1 日現在

（３）開館日別の利用状況

図書館（本館・分館）の開館時間は、平日が午前９時３０分から午後７時まで、土・日・祝日は午前９時３０分から午後６時までであり、休館日は本館が第２火曜日と第４金曜日、分館が第２水曜日と第４木曜日となっています。

本館・分館の曜日別利用状況をみると、本館・分館ともに土日は平日の２倍程度の利用があります。



資料：平成 27 年４月１日現在

３）所蔵資料の状況

（１）図書館（公民館を含む）の蔵書数の推移

図書館の蔵書は 528,123 冊で平成 17 年度に 50 万冊を超えて、その後横ばい状況を続けています。

■年度別蔵書数の推移（雑誌・視聴覚資料を除く）

	一般図書	児童図書	郷土資料	合計
平成 18 年度	358,358	147,245	10,723	516,326
平成 19 年度	363,263	150,653	11,189	525,105
平成 20 年度	364,355	152,796	11,460	528,611
平成 21 年度	355,218	155,254	12,261	522,733
平成 22 年度	356,004	157,671	12,499	526,174
平成 23 年度	352,190	157,253	11,700	521,143
平成 24 年度	352,227	161,177	11,909	525,313
平成 25 年度	351,765	164,355	12,371	528,491
平成 26 年度	350,216	165,433	12,474	528,123

相互利用している近隣市の蔵書と比べると本市の蔵書数は一番多く、県内でも 63 市町村中 12 番目の蔵書数を維持しています。（平成 26 年度）

■四市図書館蔵書数の推移

	朝霞市	新座市	志木市	和光市
平成 18 年度	516,326	351,659	316,033	176,821
平成 19 年度	523,212	349,688	316,393	178,349
平成 20 年度	526,458	351,196	306,741	176,596
平成 21 年度	522,733	356,627	309,309	178,889
平成 22 年度	526,174	361,802	306,502	174,630
平成 23 年度	521,143	360,490	304,271	174,472
平成 24 年度	525,313	365,370	303,434	173,281
平成 25 年度	528,491	380,894	306,230	175,597
平成 26 年度	528,123	389,740	313,744	176,249

資料：「埼玉県の公立図書館」より

（２）人口一人あたりの蔵書数

人口一人あたりの蔵書数は 3.90 冊で、県内では 63 市町村中 26 番目となっています。

（平成 26 年度）

（３）資料種別・分野別の蔵書数

資料種別では一般書と児童書の比率はおおよそ７：３となっています。分野別の比率は、一般書では文学が全蔵書に対する構成比で約 10.5%と最も多く、ついで社会科学が約 9.3%を占めています。児童書でも文学が約 4.5%と最も多くなっています。

種　類		分　野	蔵書数	構成比(%)
	一般書	総記	12,552	2.4%
		哲学	12,493	2.4%
		歴史	35,030	6.6%
		社会科学	49,164	9.3%
		自然科学	22,758	4.3%
		技術	33,791	6.4%
		産業	13,074	2.5%
		芸術	33,704	6.4%
		言語	7,141	1.4%
		文学	55,591	10.5%
		その他	72,730	13.8%
		計	348,028	65.9%
	児童書	総記	1,712	0.3%
		哲学	890	0.2%
		歴史	7,762	1.5%
		社会科学	5,093	1.0%
		自然科学	12,724	2.4%
		技術	4,342	0.8%
		産業	2,354	0.4%
		芸術	6,419	1.2%
		言語	1,555	0.3%
		文学	23,913	4.5%
		その他	94,165	17.8%
		計	160,929	30.5%
	紙芝居		4,398	0.8%
	郷土資料		12,477	2.4%
	大活字本		1,938	0.4%
	点字本		250	0.0%
	布絵本		106	0.0%
図書合計			528,123	

※分野は、日本十進法分類による。

（４）外国語資料の収集・保存の状況

外国語の書籍数は 5,568 冊で、ほとんどを本館で収集・保存をしています。言語別では共通外国語の英語の書籍が全体の 7 割超の 4,326 冊で続いてフランス語・韓国語と中国語の書籍が続いています。

■外国語書籍の所蔵状況

言　語	資料数	備考
英　語	4,326	（うち絵本 1,751）
韓国語	281	
中国語	272	
フランス語	430	
ドイツ語	115	
ポルトガル語	61	
その他の言語	83	

資料：平成 27 年 4 月 1 日現在

（５）雑誌および新聞の収集・保存の状況

雑誌所蔵タイトル数は本館で 343 タイトル、分館で 117 タイトルあります。新聞所蔵タイトル数は本館で 33 紙、分館で 12 紙です。

保存期間は本館で新聞・雑誌ともに 1 年（但し、縮刷版を購入している朝日・埼玉・日経は 6 ヶ月保存)、分館で新聞が３ヶ月・雑誌が 1 年保存となっています。

■新聞・雑誌の所蔵数

	本館	北朝霞分館
雑　誌	343 ﾀｲﾄﾙ	117 ﾀｲﾄﾙ
新　聞	33 紙	12 紙

資料：平成 27 年 4 月 1 日現在

（６）視聴覚資料の収集・保存の状況

図書館が所蔵する視聴覚資料は、映像資料（ビデオ、ＬＤ、ＤＶＤ、１６ミリ）と音声資料（ＣＤ、カセット）です。媒体の変化に対応して、映像資料のうちビデオ、ＬＤ、16 ミリは現在購入しておらず、ＤＶＤのみを収集しています。音声資料も現在はＣＤのみ収集をしています。

■視聴覚資料の所蔵

	ＣＤ	カセット	ビデオ	ＬＤ	ＤＶＤ	16 ミリ
本館	7,975	704	1,147	631	602	79
分館	2,922	55	0	0	0	0

資料：平成 27 年 4 月 1 日現在

４）図書館の運営状況

（１）職員及び司書数

図書館の職員数、司書数の推移は下表の通りで、経過とともに職員に占める司書比率は上がっています。

■図書館職員数および司書数

	本館	北朝霞分館
平成 18 年度	15（７）	６（３）
平成 19 年度	15（５）	６（２）
平成 20 年度	15（３）	６（２）
平成 21 年度	15（５）	６（３）
平成 22 年度	15（５）	６（２）
平成 23 年度	14（６）	６（２）
平成 24 年度	16（９）	６（３）
平成 25 年度	15（９）	６（３）
平成 26 年度	15（10）	６（４）
平成 27 年度	15（10）	６（４）

資料：平成 27 年 4 月 1 日現在、（ ）は司書数

（２）図書館予算・決算額

図書館費の事業別決算額及び予算額をみると、全体では若干増加となっています。

■図書館予算・決算額の推移　　単位:円

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
職員人件費	148,548,606	163,011,951	170,106,000
本館運営事業	72,207,772	66,093,059	72,743,000
本館管理事業	28,401,368	28,847,921	29,873,000
北朝霞分館運営事業	27,807,347	25,506,467	25,581,000
北朝霞分館管理事業	414,436	343,890	382,000
合計	277,379,529	283,803,288	298,685,000

■資料購入費の推移（図書・視聴覚資料）　　単位:円

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
本館資料購入費	20,944,599	16,761,614	16,800,000
分館資料購入費	10,293,425	8,338,645	8,239,000

資料：平成 25 年度、26 年度は決算額、平成 27 年度は予算額

２．図書館サービスに関するニーズ

１）アンケート調査の実施概要

「図書館サービス基本計画」の策定に関する来館者アンケート調査を平成２７年６月に実施しました。

アンケート調査は、朝霞市立図書館（本館）と北朝霞分館の来館者（計約 1,000 人）を対象に行い、その場でアンケート調査票にご記入いただきました。各館の回収数については以下のとおりです。

【アンケート調査の回収結果】　　回収総数計：954 票

図　書　館	回収数	割合
朝霞市立図書館（本館）への来館者	639 票	67.0%
北朝霞分館への来館者	315 票	33.0%

２）来館者アンケート調査結果のまとめ

来館者（本館・北朝霞分館）へのアンケート調査をもとに、その特徴等を整理しました。

（１）　会社員が多く、次いで主婦の利用が多い

①　利用者の住まい

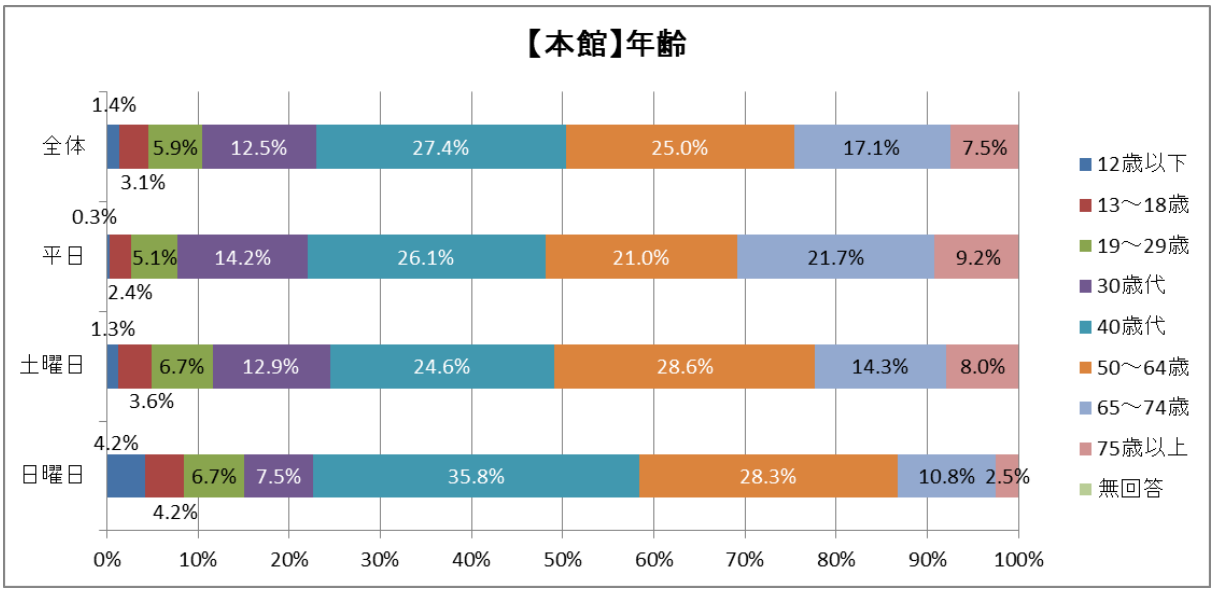
市内居住者は、本館で 81.8%、分館で 87.9%となっています。

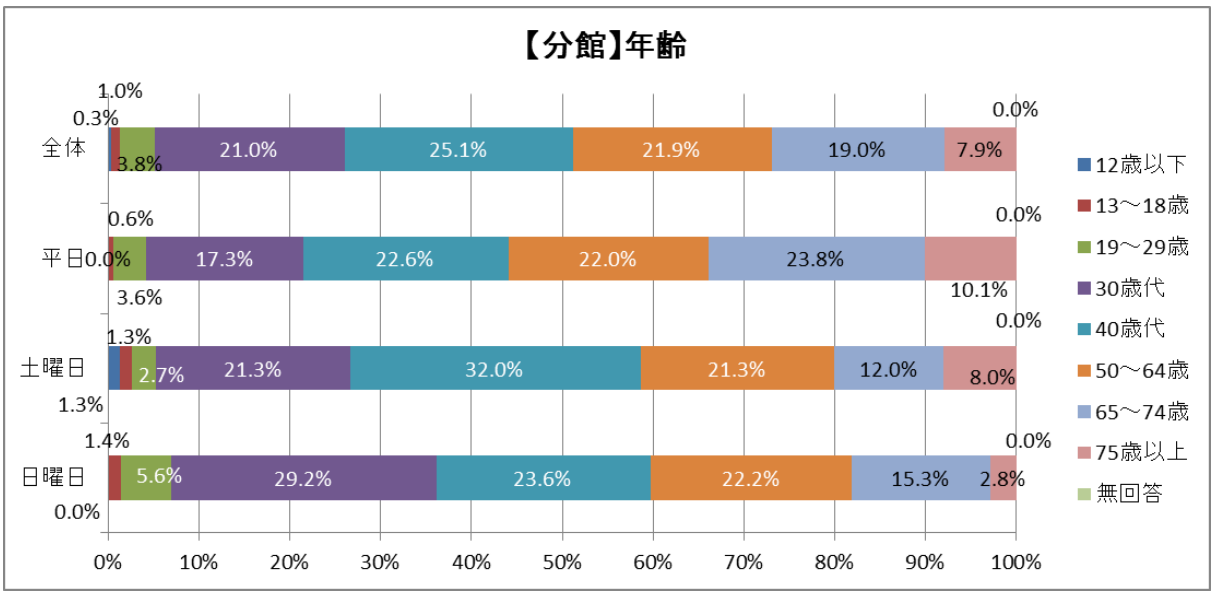
②　職業

職業は、本館では「会社員・公務員」36.9%、「主婦」24.3%と多く、分館では「会社員・公務員」32.7%、「主婦」34.6%となっています。

③　勤め先・学校の所在地

勤め先・学校の所在地は、本館では「都区内」27.4%、「朝霞市」17.7%、分館では「都区内」24.1%、「朝霞市」15.9%となっています。





（２）図書館の利用は月２～３回が多く、目的は「本・雑誌を借りるため」が９割強

① 図書館の利用頻度

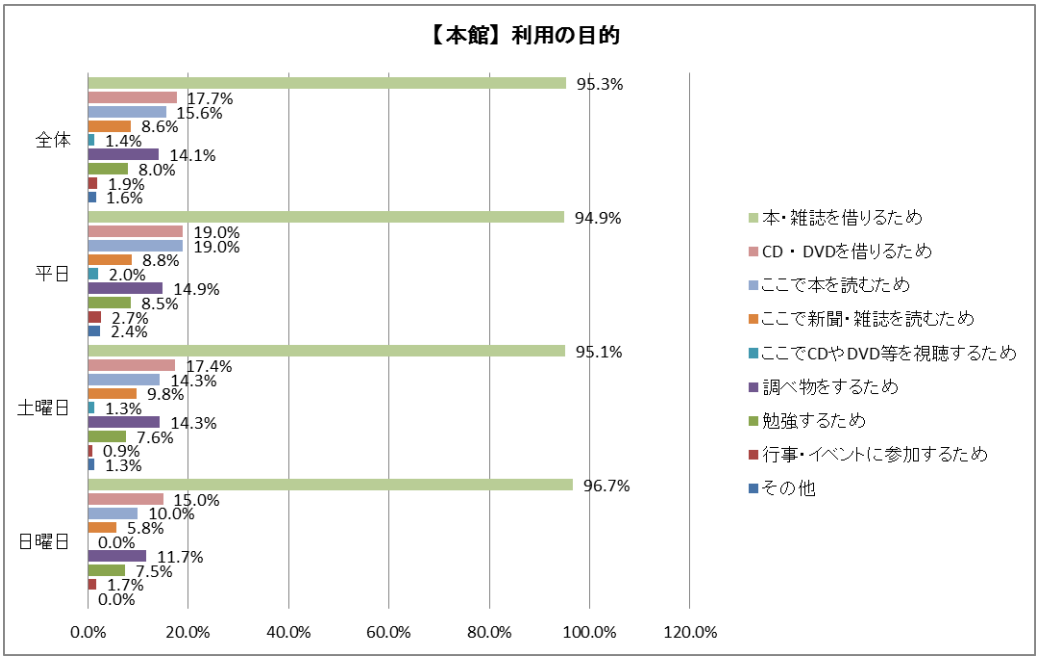
・ 図書館の利用頻度は、本館では「月に２～３回程度」43.5%、「月に１回程度」21.9%、「週１～２回程度」20.3%、分館では「月に２～３回程度」45.1%、「月に１回程度」22.9%「週１～２回程度」19.7%の順で多くなっており、前回調査とほぼ同様です。

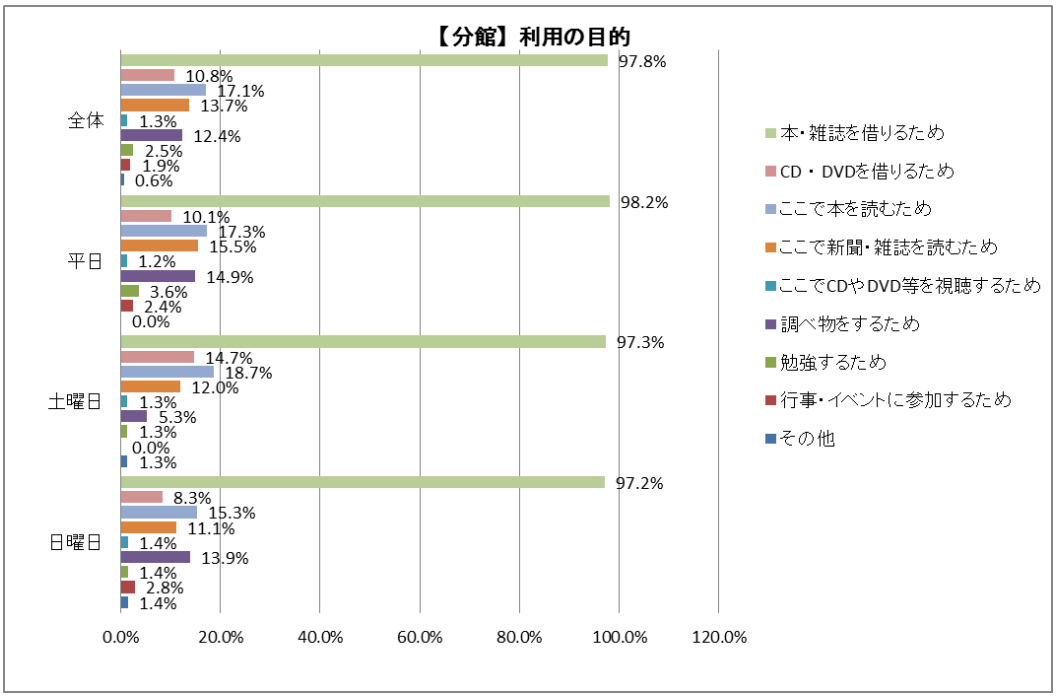
② 図書館を利用する目的

・ 図書館を利用する目的は、本館・分館とも「本・雑誌を借りるため」が約 95%以上で、次いで「ここで本を読むため」「CD・DVD を借りるため」「調べ物をするため」が多くなっています。前回調査との比較では、本館と分館の合計で、「本・雑誌を借りるため」が 11 ポイント増え、「調べ物をするため」が 7 ポイント減っています。

③　主に利用する図書館

・　主に利用する図書館は、複数を選ぶことができ、本館利用者は「朝霞市立図書館（本館）」を 97.0%、「北朝霞分館」を 26.8%の人が選んでいます。分館利用者は「北朝霞分館」を 81.6%、「朝霞市立図書館（本館）」を 44.1%の人が選びました。前回調査に比べ、分館利用者が「北朝霞分館」を選んだ人は 16 ポイント増えています。





（３）全般に図書館の評価・満足度は高い
事業や図書館サービスに関しては、約３割が知らないと回答

① 図書館の“開館日数・貸出制度・返却制度”は評価が高いが、“雑誌の質と量”では評価が下がり、“ＣＤ・ＤＶＤの量と質”での不満は変わらない

・「図書の量と質」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 77.1%、分館では 77.5%となっています。

・「雑誌の量と質」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 70.4%、分館では 72.6%となっています。前回調査と比べ、「満足」と答えた者は、「本館」では 18 ポイント、分館では 11 ポイント減りました。

・「新聞の量と質」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 71.8%、分館では 76.6%となって、ほぼ前回調査と同様です。

・「ＣＤ・ＤＶＤの量と質」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 42.1%、分館では 43.8%、一方、「やや不満」と「不満」を合わせると、本館では 34.5%、分館では 31.8%となっており、他の項目と比較すると不満が多くなっています。

・「開館日数」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 92.6%、分館では 95.9%と、9 割を超えた評価となっています。

・「開館時間」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 82.0%、分館では 86.0%となっています。前回調査に比べ、分館で「満足」と答えた者が、11 ポイント増えました。

・「貸出制度」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 90.0%、分館では 94.6%と、9 割を超えた評価となっています。

・「返却制度」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 90.6%、分館では 94.3%と、9 割を超えた評価となっています。

・「四市の図書館相互利用」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 85.1%、分館では 88.9%となっています。

・「インターネットからの蔵書検索」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 74.8%、分館では 75.9%となっています。

・「館内にある利用者端末での蔵書検索」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 75.1%、分館では 75.2%となっています。

・「質問や問合せに対するサービス」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 76.7%、分館では 77.5%となっています。

・「リクエストサービス」は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 74.8%、分館では 78.4%となっています。

平成 21 年の前回調査と比較すると、本館・分館ともに評価を上げたのは、「開館日数」と「インターネットからの蔵書検索」で、ともに評価を下げたのは、「CD・DVD の量・質」と「リクエストサービス」でした。

② 子ども及び保護者向け、青少年向け事業については、前回調査に比べ「知らない」は減っているもののまだ 2～3 割が知らない。

■子ども及び保護者向け事業の参加

・子ども及び保護者向け事業は、本館では「利用したことがない」が 45.4%、「知らない」22.5%、分館では「利用したことがない」48.9%、「知らない」が 27.0%となっています。参加者の事業の満足度は、本館・分館とも「満足」「やや満足」で 9 割を超えた評価となっています。

■青少年向け事業の参加

・青少年向け事業は、本館では「利用したことがない」が 51.8%、「知らない」26.6%、分館では「利用したことがない」50.8%、「知らない」が 30.8%となっています。

③ 図書館サービスは本館・分館とも約１／３が知らないとなっている

■高齢者・障がい者サービスの利用

・高齢者・障がい者サービスは、本館では「利用したことがない」が 52.3%、「知らない」27.4%、分館では「利用したことがない」50.8%、「知らない」が 32.4%となっています。

■ビジネス支援サービスの利用

・ビジネス支援サービスは、本館では「利用したことがない」が 48.7%、「知らない」31.5%、分館では「利用したことがない」52.4%、「知らない」が 30.2%となっています。前回調査に比べ、分館では「知らない」が 12 ポイント減っています。

■図書館からの情報の利用

・図書館からの情報の利用は、本館では「利用したことがない」が 41.2%、「知らない」22.2%、分館では「利用したことがない」47.0%、「知らない」が 20.0%となっています。

■多文化対応サービス

・多文化対応サービスは、本館では「利用したことがない」が 48.0%、「知らない」27.7%、分館では「利用したことがない」50.5%、「知らない」が 30.2%となっています。

■リサイクルフェアの利用

・リサイクルフェアは、本館では「利用したことがない」が 35.8%、「知らない」14.4%、分館では「利用したことがない」42.2%、「知らない」が 14.6%となっています。

④ 図書館内の施設等については、満足度が高い

■閲覧席について

・閲覧席については、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 72.1%、分館では 65.7%となっています。前回調査に比べ、分館では「満足」「やや満足」ともに 10 ポイントずつ増えました。

■学習コーナーについて（本館のみ）

・学習コーナーは、「満足」が 26.3%、「やや満足」36.8%となっています。

■視聴コーナーについて（本館のみ）

・視聴覚コーナーは「満足」が 20.0%、「やや満足」31.5%となっています。

■飲食コーナーについて（本館のみ）

・飲食コーナー本館は「満足」が 21.4%、「やや満足」31.3%となっています。

■和室集会室について（本館のみ）

・和室集会室本館は「満足」が 21.4%、「やや満足」29.7%となっています。

■館内の利用環境（明るさ・温度など）について

・館内の利用環境（明るさ・温度など）は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 81.2%、分館では 85.4%となっています。

■館内の利用環境（雑音・においなど）について

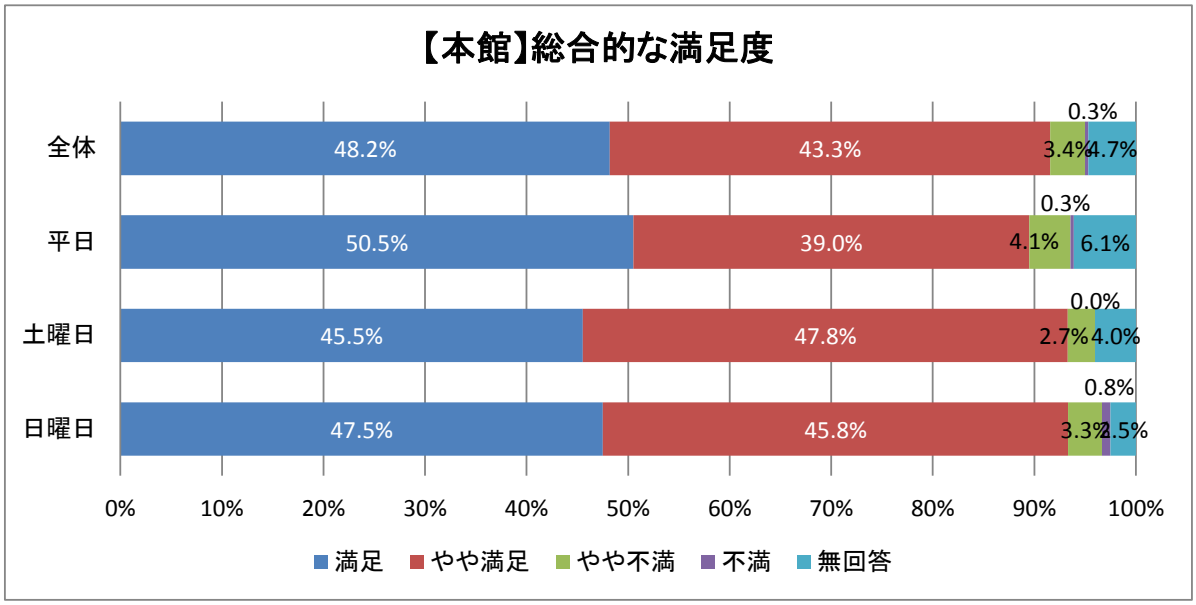
・館内の利用環境（雑音・においなど）は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 79.2%、分館では 85.1%となっています。前回調査に比べ分館では、「満足」が 10 ポイント増えました。

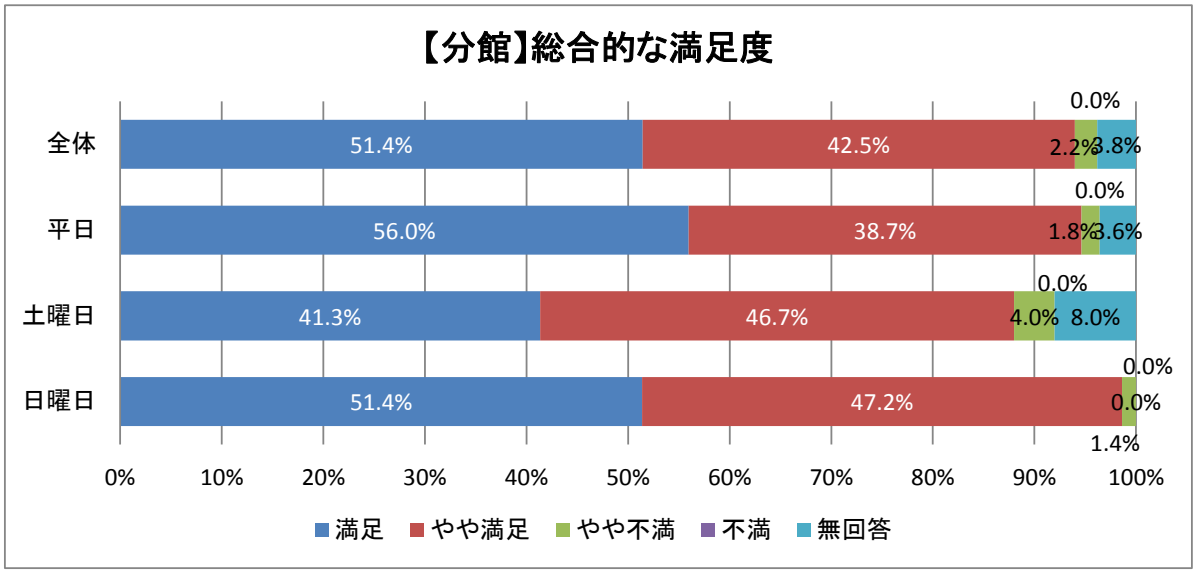
■職員の対応について

・職員の対応は、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 88.9%、分館では 91.7%となっています。

⑤　総合的に見た満足度については、満足・やや満足が合わせて約９割と評価が高い

・総合的に見た満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせて、本館では 91.5%、分館では 93.9%となっています。前回調査と比較すると、本館・分館ともに評価を上げています。





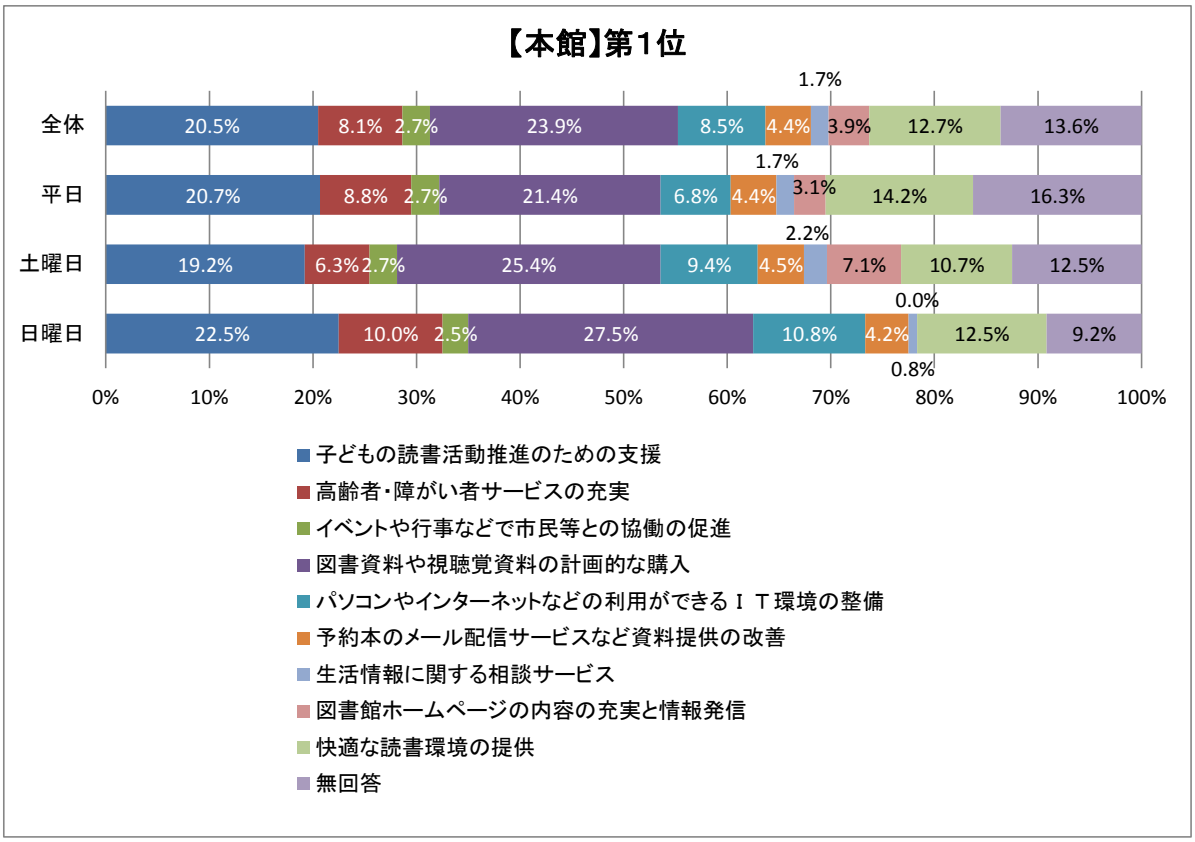
（４）今後の期待

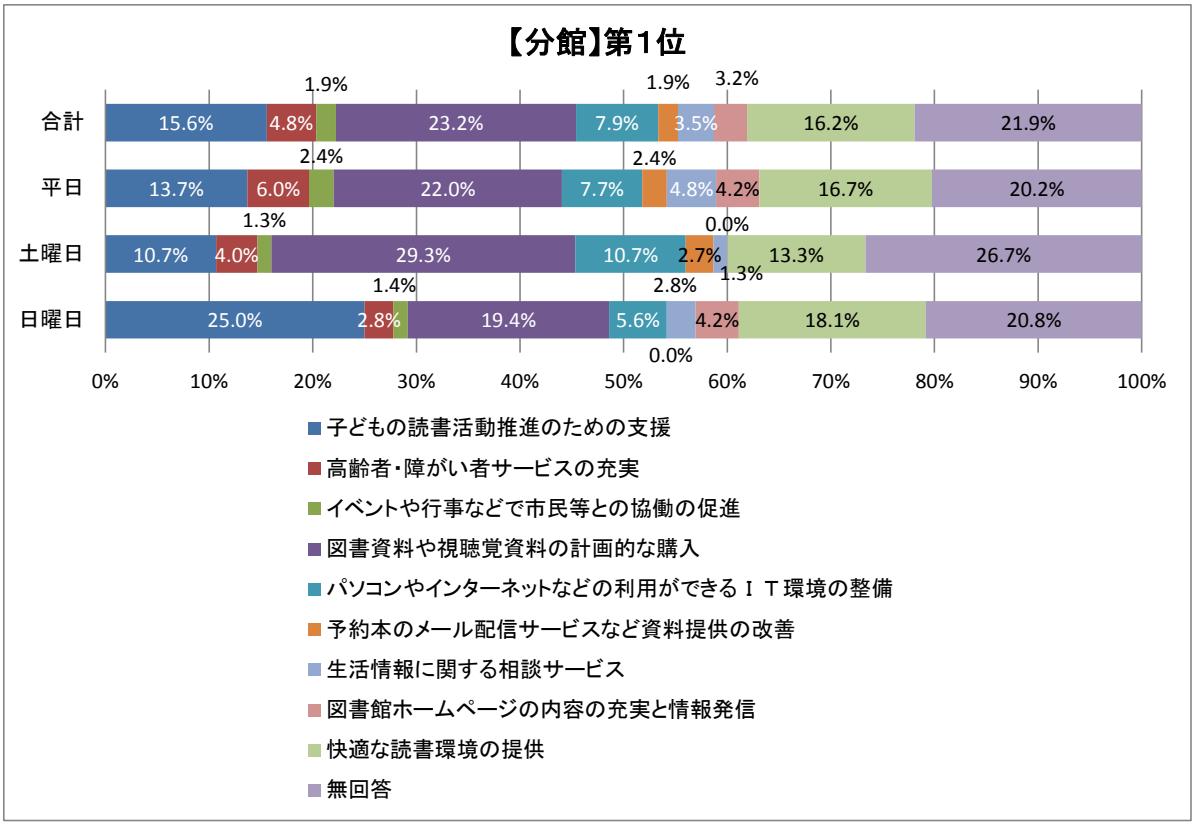
図書館の今後の施策として関心が高いのは、本館・分館とも「図書資料や視聴覚資料の計画的な購入」「快適な読書環境の提供」「子どもの読書活動推進のための支援」でした

・図書館の今後の施策として関心があると選ばれた項目は、本館では多い順に「図書資料や視聴覚資料の計画的な購入」15.4%、「快適な読書環境の提供」14.2%、「子どもの読書活動のための支援」11.9%でした。

・分館では、同様に「快適な読書環境の提供」15.7%、「図書資料や視聴覚資料の計画的な購入」13.4%、「子どもの読書活動のための支援」10.3%となっています。

・全体では、「快適な読書環境の提供」と「図書資料や視聴覚資料の計画的な購入」が共に 14.7%、「子どもの読書活動のための支援」11.4%、「パソコンやインターネットなどの利用ができる IT 環境の整備」8.6%、「高齢者・障がい者サービスの充実」6.7%、「予約本のメール配信など資料提供の充実」6.6%、「図書館ホームページの内容の充実と情報発信」6.5%、「イベントや行事などで市民との協働の促進」5.3%、「生活情報に対する相談サービス」4.6%の順となっています。


【本館】第１位
全体
平日
土曜日
日曜日
20.5% 8.1% 2.7% 23.9% 8.5% 4.4% 1.7% 3.9% 12.7% 13.6%
20.7% 8.8% 2.7% 21.4% 6.8% 4.4% 1.7% 3.1% 14.2% 16.3%
19.2% 6.3% 2.7% 25.4% 9.4% 4.5% 2.2% 7.1% 10.7% 12.5%
22.5% 10.0% 2.5% 27.5% 10.8% 4.2% 0.0% 0.8% 12.5% 9.2%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
子どもの読書活動推進のための支援
高齢者・障がい者サービスの充実
イベントや行事などで市民等との協働の促進
図書資料や視聴覚資料の計画的な購入
パソコンやインターネットなどの利用ができるＩＴ環境の整備
予約本のメール配信サービスなど資料提供の改善
生活情報に関する相談サービス
図書館ホームページの内容の充実と情報発信
快適な読書環境の提供
無回答


【分館】第１位
合計
平日
土曜日
日曜日
15.6% 4.8% 1.9% 23.2% 7.9% 1.9% 3.5% 3.2% 16.2% 21.9%
13.7% 6.0% 2.4% 22.0% 7.7% 2.4% 4.8% 4.2% 16.7% 20.2%
10.7% 4.0% 1.3% 29.3% 10.7% 2.7% 0.0% 1.3% 13.3% 26.7%
25.0% 2.8% 1.4% 19.4% 5.6% 2.8% 4.2% 0.0% 18.1% 20.8%
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
子どもの読書活動推進のための支援
高齢者・障がい者サービスの充実
イベントや行事などで市民等との協働の促進
図書資料や視聴覚資料の計画的な購入
パソコンやインターネットなどの利用ができるＩＴ環境の整備
予約本のメール配信サービスなど資料提供の改善
生活情報に関する相談サービス
図書館ホームページの内容の充実と情報発信
快適な読書環境の提供
無回答

３）アンケート調査から見られる特徴と課題

利用者によるアンケート調査から見られる本市図書館の特徴と課題は、次のように整理することができます。

①図書館を利用する目的

図書館を利用する目的は、「本や雑誌を借りるため」が９５％を超え、前回調査に比べて増えています。一方、「調べものをするため」が減っています。

②総合的に見た満足度

総合的に見た満足度については、本館・分館とも「満足」「やや満足」を合わせると９割以上で、前回調査より評価を上げています。

③図書館の制度への満足度は高い

「貸出制度」「返却制度」「開館日数」については、本館・分館とも「満足」「やや満足」を合わせると約９割に達し、前回調査同様、高評価となっています。

④館内の利用環境への満足度は高い

館内の利用環境（明るさ・温度など、雑音・においなど）については、「満足」「やや満足」を合わせると約８割に達し、前回調査同様高い評価となっています。

⑤職員の対応

職員の対応については、本館・分館とも「満足」「やや満足」を合わせると約９割に達し、前回調査同様、高評価となっています。

⑥“ＣＤ・ＤＶＤ”の量と質の面で「やや不満」が多い

“図書・雑誌・新聞”の量と質は、本館・分館とも「満足」「やや満足」を合わせて約７割の評価ですが、「雑誌の量と質」では、前回調査に比べ満足度が低下しています。また、「ＣＤ・ＤＶＤの量と質」で、「やや不満」「不満」が他の項目より多くなっています。

⑦子ども及び保護者向け事業や青少年向け事業が周知されていない

子ども及び保護者向け事業や青少年向け事業については、参加した人の満足感は高く評価されていますが、「参加したことが無い」「知らない」との回答が前回調査同様多くなっています。

⑧図書館サービスを知らない人が多い（利用者の１／３）

図書館サービス（高齢者・障がい者サービス、ビジネス支援サービス、多文化対応サービス）については、いずれも「知らない」が前回調査同様１／３を占めています。

⑨図書資料や視聴覚資料の計画的な購入等が行政への要望として高い

本館・分館とも、“図書資料や視聴覚資料の計画的な購入”、“快適な読書環境の提供”、“子どもの読書活動推進のための支援”への要望が前回調査同様高くなっています。

４）図書館サービスに対する課題

来館者アンケート調査・今回取り入れた市政モニターアンケートの特徴は、前回の来館者アンケートと同様な傾向を示しています。これを踏まえると、図書館サービスに対する課題には変化がなく、その対策が継続して求められていることがわかります。

①わかりやすくきめ細かい情報の提供

図書館利用者のうち、図書館事業に参加した人の満足度は高いものの、事業やサービスについて知らない人が約１／３を占めていす。このことから図書館事業やサービスについて、わかりやすくきめ細かい情報の提供を通じ、図書館自体の魅力を PR することはもとより、様々な図書館事業・サービスの利用を促していくことが更に必要です。

②生涯学習の場としての利用環境づくり

図書館の今後の施策について、図書館利用者については、図書資料や視聴覚資料の計画的な購入のほか、快適な読書環境の提供や子どもの読書活動推進のための支援などにも関心を示しています。また、市政モニターによるアンケート結果においても、フリースペース、自習室などの充実を含めた快適な読書環境に対し高い関心が示されています。

このことから今後も引き続き、図書館が市民の多様な生涯学習の場として機能するような利用環境づくりや資料の充実のため、学習スペースや資料収蔵スペースの確保が必要であると考えられます。

③生活に身近な図書館づくり

来館者アンケートでは、図書館利用は月２～３回で、「本・雑誌を借りる」目的が９割強となっており、利用者の生活行動の一部となっています。また、図書館カード未登録市民の方についても利用を促進するため、日々の生活の中に図書館利用が自然に位置づけられ、様々な暮らしや地域情報に触れる場としても身近に利用できる図書館づくりが引き続き求められています。

第３章　図書館サービスの基本方針

１．計画の基本的考え方

図書館利用者のニーズが多様化している中で、生涯学習の時代を迎え、図書館は市民の自主的な学習を支援する施設、また地域の文化活動を支援する拠点として、益々重要性が増しています。

図書館サービス基本計画において、市民への図書館のあり方や方向性を示し、時代変化にあった図書館サービスの充実を図ることが必要です。また、図書に初めて接する乳幼児から高齢者まで、誰もが気軽に使え、利用者が期待し希望する魅力ある図書館を目指したいと考えます。

このため、基本理念は、前計画の基本理念を引き継ぐこととします。

【基本理念】

「赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが気軽に使える図書館」

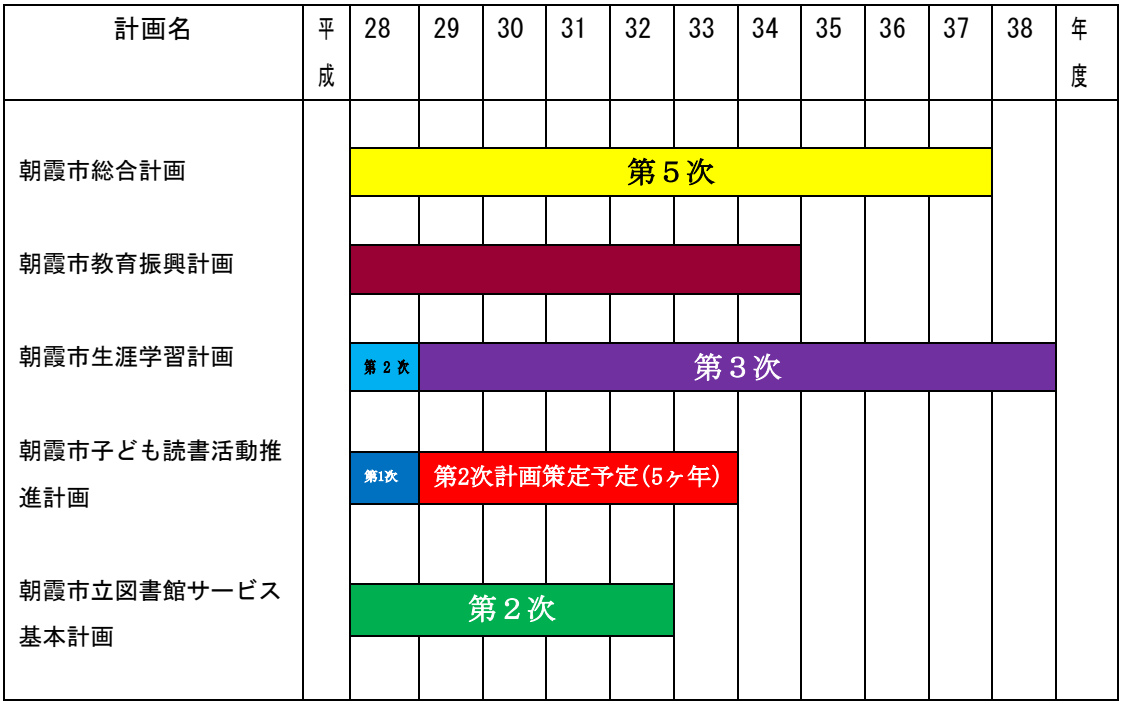
２．計画の位置付けと期間

１）位置付け

第５次朝霞市総合計画（平成28年度～）、朝霞市教育振興基本計画（平成25年度～平成34年度）、第２次朝霞市生涯学習計画（平成19年度～平成28年度）、朝霞市子ども読書活動推進計画（平成24年度～平成28年度）を踏まえ「第２次朝霞市立図書館図書館サービス基本計画（平成28年度～平成32年度）」を位置付けます。

２）基本計画の位置付けと期間

第２次図書館サービス基本計画は、平成28年度～平成32年度の５年間とします。



３．朝霞市立図書館の将来像

市民が「生きがい」や「心の豊かさ」を得る生涯学習の拠点であり、また他機関との連携やＩＴを活用した地域情報の拠点として、常に身近な存在としての図書館を目指すことが継続して求められています。

１）将来像

全ての市民が親しみやすく使いやすい、市民自ら学ぶことのできる活動の支援・情報提供を行う図書館を目指すため、前計画の将来像を引き継ぎます。

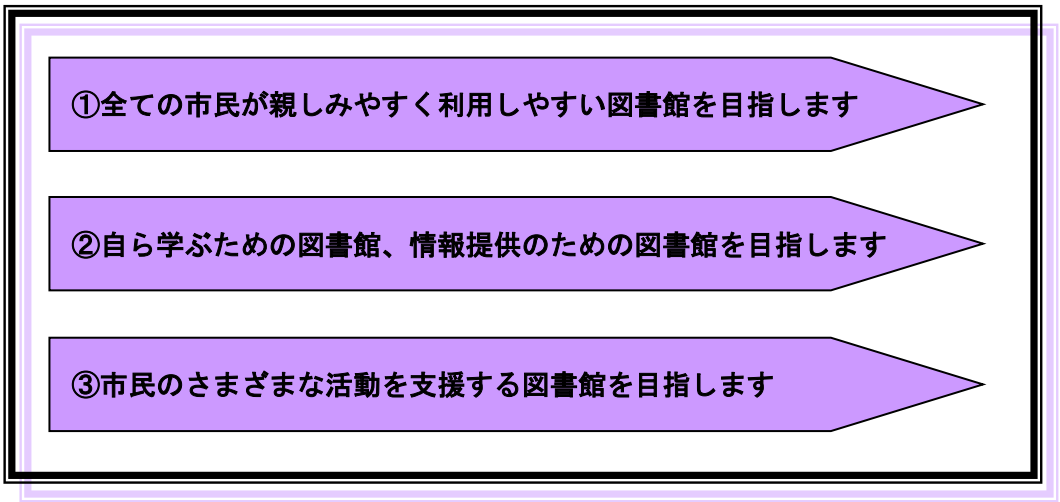
【朝霞市立図書館の将来像】

市民の生涯学習の拠点、地域の情報の拠点として、身近な図書館

２）将来像実現のための基本方針

将来像実現に向け、次の基本方針に基づいて取り組みを継続します。

【将来像実現のための基本方針】



第４章　図書館サービス基本計画

第２章の朝霞市立図書館の現況と課題を踏まえ、第３章の図書館サービスの基本的考え方、及び朝霞市立図書館の将来像・基本方針から、図書館サービス充実のための基本計画として、１．計画的な蔵書管理、２．資料・情報提供サービスの充実、３．利用者に応じた図書館サービスの充実、４．図書館機能の向上、の４つの目標に沿って取り組みを継続します。

【計画の体系】

【 基 本 理 念 】
「赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが気軽に使える図書館」

【将来像】

市民の生涯学習の拠点、地域の情報の拠点として、身近な図書館

【基本方針】

①全ての市民が親しみやすく利用しやすい図書館を目指します

②自ら学ぶための図書館、情報提供のための図書館を目指します

③市民のさまざまな活動を支援する図書館を目指します

【図書館サービス充実のための基本計画】

１．計画的な蔵書管理
- １）図書資料の収集・保存
- ２）視聴覚資料の収集・保存
- ３）行政資料・郷土資料の収集・保存
- ４）その他資料の収集・保存
- ５）資料の廃棄・リサイクル

２．資料・情報提供サービスの充実
- １）資料提供の利便性の向上
- ２）図書館システムの充実
- ３）レファレンス機能の強化
- ４）情報へのアクセシビリティの確保

３．利用者に応じた図書館サービスの充実
- １）乳幼児と保護者への図書館サービス
- ２）小・中学生への図書館サービス
- ３）高校生・大学生・成人への図書館サービス
- ４）高齢者及び障がい者への図書館サービス
- ５）外国人への図書館サービス

４．図書館機能の向上
- １）利用環境の向上
- ２）市民参加・協働の促進
- ３）他自治体・機関との連携強化
- ４）職員の資質及びサービス提供能力の向上

１．計画的な蔵書管理

１）図書資料の収集・保存

・朝霞市立図書館資料収集方針に則り、市民の多様化するライフスタイルや学習ニーズに対応しつつ、様々な生涯学習活動を支援するため、図書館の機能を十分に発揮できる図書資料の収集に努めます。

・図書資料の保存にあたっては、貴重な資料の保存状態に十分配慮し、収蔵スペースの確保や図書館システムを有効に活用し、必要な資料がいつでも、誰でも利用できるよう努めます。

・電子媒体の導入においては、他の自治体等の動向を注視し、調査研究に努めます。

２）視聴覚資料の収集・保存

・様々な情報資料の一つとして、映像・音声資料など多様な種類の視聴覚資料の収集・保存に努めます。

・予算を有効に配分し、計画的な視聴覚資料の収集・保存に努めるとともに、映画会など図書館事業への積極的な活用を行います。

３）行政資料・郷土資料の収集・保存

・地域の特性を踏まえ、市の郷土資料や行政資料、住民に役立つ地域資料等を積極的に収集し、身近な学習活動や調査・研究活動に活用できるようにします。

・朝霞に関する新聞記事等の情報収集・保存に努め、地域の図書館としての情報提供に努めます。

４）その他資料の収集・保存

・高齢者や障がい者等に配慮し、点字図書・録音図書・布絵本・大活字本の収集・保存に努めるとともに、図書情報として図書館ホームページ等を通じて紹介し活用を促します。

・市内に在住・在勤・在学する外国人に配慮し、また、社会のグローバル化・国際化に対応した外国語資料の収集・保存に努め、積極的に情報提供します。

５）資料の廃棄・リサイクル

・日常的な資料の点検・更新、除架・除籍・廃棄・リサイクル方法の見直しや、年間作業のシステム構築などを行い、資料や情報の継続的なメンテナンスに努めます。

２．資料・情報提供サービスの充実

１）資料提供の利便性の向上

・所蔵資料の他、新刊図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等の迅速な確保や提供に努めるとともに、近隣市（志木市・和光市・新座市）との相互利用制度や、県内の図書館で構成する蔵書横断検索システムなどを通じた連携・協力により、利用者のニーズに対応した迅速な資料提供に努めます。

・誰もが気軽に図書館を利用していただけるよう、図書館利用案内・図書館だより・各種案内等の刊行物を見直し、また、本の返却ポストのＰＲや図書館ホームページの情報の充実に努めます。

２）図書館システムの充実

・収集した資料・情報が適確に蓄積され、迅速に提供できるよう、蔵書管理システムの計画的な点検・更新を行います。

・図書館の施設・設備や機能に関し、継続的な点検に努め、予算を有効に配分し計画的な更新に努めます。

３）レファレンス*機能の強化

・利用者の求める資料相談や調査研究・学習相談に迅速に対応するため、館内利用者端末（OPAC）サービスの充実や、資料や情報の検索・提供、紹介等を行うレファレンスサービスの充実を図ります。

・これまでのレファレンス記録を整理し活用を図るため、レファレンス事例集等の作成やデータベース化を推進します。

・国会図書館や県立図書館のレファレンス事例集の活用を図り、多様化するレファレンスの要望に対応します。

・地域情報や小・中学校の調べ学習等に対応したレファレンス業務の充実を図ります。

・ビジネス支援として、就職・転職・起業・職業能力開発・日常の仕事等のための資料収集、学習相談に対応するため、データベースの利用促進に努めます。

*レファレンス：資料・情報を求める利用者に対して提供される、文献の紹介・提供などの援助

４）情報へのアクセシビリティ*の確保

・図書館（本館）、北朝霞分館、各公民館図書室の相互連携を強め、地域における図書館ネットワーク機能の充実を図ります。

・図書館利用者用端末（OPAC）やインターネットによる図書館資料の検索や予約システム、予約資料のメール連絡システムの充実を図り、効率的な資料確保・情報の提供に努めます。

・広報、市のホームページに掲載する図書館情報や、図書館ホームページの充実を図り、より見やすくわかりやすい図書館情報づくりに努めるとともに、迅速な情報発信を行います。

*アクセシビリティ：どんな人でも利用のしやすい、簡単に手に入れられるかをあらわす語

３．利用者に応じた図書館サービスの充実

１）乳幼児と保護者への図書館サービス

・「ブックスタート、赤ちゃんとママのおはなしタイム、うさみみタイム、クリスマスおはなし会、児童文化講座、分館の絵本のよみきかせ」などの事業の充実を図り、乳幼児が保護者とともに絵本などに親しむとともに、図書館が乳幼児と保護者同士の交流の場となるよう工夫します。

・保育園や幼稚園などと連携し、ブックリストの発行や広報・ホームページでの情報発信を充実し、絵本などを通して子育て支援を行います。

２）小・中学生への図書館サービス

・より魅力的な図書資料等の収集に努め、読書の楽しさを知り、子どもたちが自ら進んで積極的な読書活動を行うことができるよう、館内テーマ展示や図書館ホームページ等を通じた「子ども読書の日お楽しみ映画会・夏休み子供映画会・えんじょいきっず・キッズシネマ」など小中学生対象とした各種子ども向け事業のPR、情報提供のあり方を工夫し支援します。

・市内の児童館、小・中学校図書館や子ども関係団体等との連携や協力を深め、読書通帳の活用や情報交換会を開催し事業協力を行うなど、子どもの読書活動の中心的な機関としての機能の充実を図ります。

・小・中学校の調べ学習や体験活動等について、より効果的な学習・活動が展開できるよう、図書の団体貸出を促進し、職業体験の受入を積極的に行い、学校における教育活動への協力を進めます。

３）高校生・大学生・成人への図書館サービス

①高校生・大学生のための図書館サービス

・ 市内や近隣市の高校・大学と連携し、高校生・大学生の読書ニーズを把握するとともに、この年代の多様な関心に応えられる資料収集、ホームページ等を通じたティーンズコーナーや「青少年対象講座・シネマラソン」など青少年向け事業のPR等、情報発信に努めます。

・将来の進路、職業等に関する情報等について、市内や近隣市の高校・大学とも情報交換等を行い、多角的な視野から考えることができるよう、資料収集、情報提供に努めます。

・青少年の居場所としての図書館のあり方について調査研究に努めます。

②成人のための図書館サービス

・市民の生涯学習活動を支援するため、幅広いニーズに対応した多様な学習資料や情報を収集し、積極的な提供に努めます。

・ 科学技術や産業の発展、世界情勢の変化等に適確に対応できるよう、資料や情報の収集、提供に努めます。

・ビジネス支援の観点から、就職・転職、起業・職業能力開発、日常の仕事等に役立つデータベース検索の充実に努めるほか、データベース利用のPRやわかりやすいビジネス支援情報の提供、関係書籍の館内テーマ展示など、情報・資料提供サービスの促進に努めます。

４）高齢者及び障がい者への図書館サービス

①障がい者のための図書館サービス

・障がいのある方に配慮した施設の点検・整備に努め、安心して図書館を利用できるシステムづくりや館内デザイン等についても充実に努めます。

・点字資料・録音資料等の充実とそれに付随する機器類の整備・充実に努めます。

・ボランティア団体との連携を図り、事業実施時の手話通訳や図書館利用の際の介助、対面朗読や宅配サービスなど、きめ細かなサービスに努めます。

・所蔵資料利用のためのわかりやすい目録等の整備やホームページの活用方法の検討を行います。

・障がいのある方が気軽に親しめるような配慮ややさしい対応を心がけサービスの提供に努めます。

②高齢者のための図書館サービス

・高齢者に配慮した施設の点検・整備に努め、安全で利用しやすい図書館づくりに努めます。

・大活字本や視聴覚資料の充実および拡大読書器等の機器・機材の整備・充実に努めます。

５）外国人への図書館サービス

・所蔵資料の積極的な活用を促進するため、市内に在住・在勤・在学する外国人向けに、図書館利用案内の作成や広報、ホームページでのわかりやすい情報提供について検討します。

・市内に在住・在勤・在学する外国人に対応した外国語資料の収集・充実に努めます。

４．図書館機能の向上

１）利用環境の向上

・ 図書館資料・情報の適確な管理に努め、より効率的で質の高いサービスを提供するため、図書館管理システムの整備・充実に努めます。

・ユニバーサルデザインの観点から、高齢者・障がい者及び幼児等、誰でもが安全で安心して利用しやすい施設環境づくりに努めます。

・地域の生涯学習の拠点、情報拠点としての役割を果たすため、地域資料のデジタル化を推進するとともに、行政・生活・健康・医療・就職・ビジネス・地域情報等のリンク集を構築し、図書館ホームページの充実を図ります。

２）市民参加・協働の促進

・ 「図書館まつり・らいぶらりコンサート」など様々な図書館事業を通じて、図書館への市民参加や協働の機会を創り、地域における世代を超えた交流の場としての図書館づくりを進めます。

・ 各種講座や研修を通して図書館ボランティアを育成し、図書館の活性化を図るとともに、図書館ボランティアが自発的な活動ができる環境整備に努めます。

・利用者懇談会などでの意見や日常の利用者の声を通して、日ごろからサービス形態の改善を検討し、市民に親しまれる図書館運営に努めます。

３）他自治体・機関との連携強化

・ 本市と志木市・和光市・新座市の４市は、図書館の相互利用の連携が既に取られており、また、埼玉県内の図書館とは横断検索システムによって、相互に効率的な蔵書検索・貸借を行っているところですが、さらなる充実に努め、利用者の利便性向上に努めます。

・ 大学生の司書講習や市内中学生の職業体験受け入れ等を継続するほか、図書館関係団体・学校図書館関係者、司書講習実施大学等との情報交換など、連携に努めます。

４）職員の資質及びサービス提供能力の向上

・今後の知識情報社会を支えるためには職員の資質向上が必要であり、組織的な研修体制や研修制度の充実に努めるとともに、利用者のニーズに合わせた適確な資料・情報提供を行うため各種研修を積極的に受講するなど、職員のスキルアップに努めます。

・時代の変化に合わせた図書館運営を行うため、必要に応じてプロジェクト・チームを設置し新たな課題研究に取り組むなど、職員の意欲と創造性の向上に努めます。

【 サービス評価指標及び数値目標】

下表のとおり計画体系目標ごとにサービス評価指標を設定し、毎年度自己評価を実施し、達成に努めます。

※数値目標は、平成２７年度末の状況により積算し、別冊子にて示します。

目　標		施策内容		サービス評価指標	数値目標	
					平成 28 年度	平成 32 年度
1	計画的な蔵書管理	1	図書資料の収集・保存	図書資料購入冊数		
		2	視聴覚資料の収集・保存	視聴覚資料購入点数		
		3	行政資料・郷土資料の収集・保存	行政資料・郷土資料の受入件数		
		4	その他の資料の収集・保存	大活字図書の購入冊数		
		5	資料の廃棄・リサイクル	リサイクルフェアの開催回数		
2	資料・情報提供サービスの充実	1	資料提供の利便性の向上	相互協力貸出冊数		
		2	図書館システムの充実	蔵書管理システムのバックアップ機能のメンテナンス回数		
		3	レファレンス機能の強化	レファレンス件数		
		4	情報へのアクセシビリティの確保	インターネット予約件数		
3	利用者に応じた図書館サービスの充実	1	乳幼児と保護者への図書館サービス	おはなし会等事業の開催回数		
		2	小・中学生への図書館サービス	7 歳から 15 歳までの図書館利用者数		
		3	高校生・大学生・成人への図書館サービス	16 歳以上の図書館利用者数		
		4	高齢者及び障がい者への図書館サービス	高齢者・障がい者サービス資料の貸出点数		
		5	外国人への図書館サービス	洋書の購入冊数		
4	図書館機能の向上	1	利用環境の向上	メール通知サービスの登録件数		
		2	市民参加・協働の促進	市民等との連携・協働事業回数		
		3	他自治体・機関との連携強化	学校等との連携事業等の件数		
		4	職員の資質及びサービス提供能力の向上	職員等研修回数		

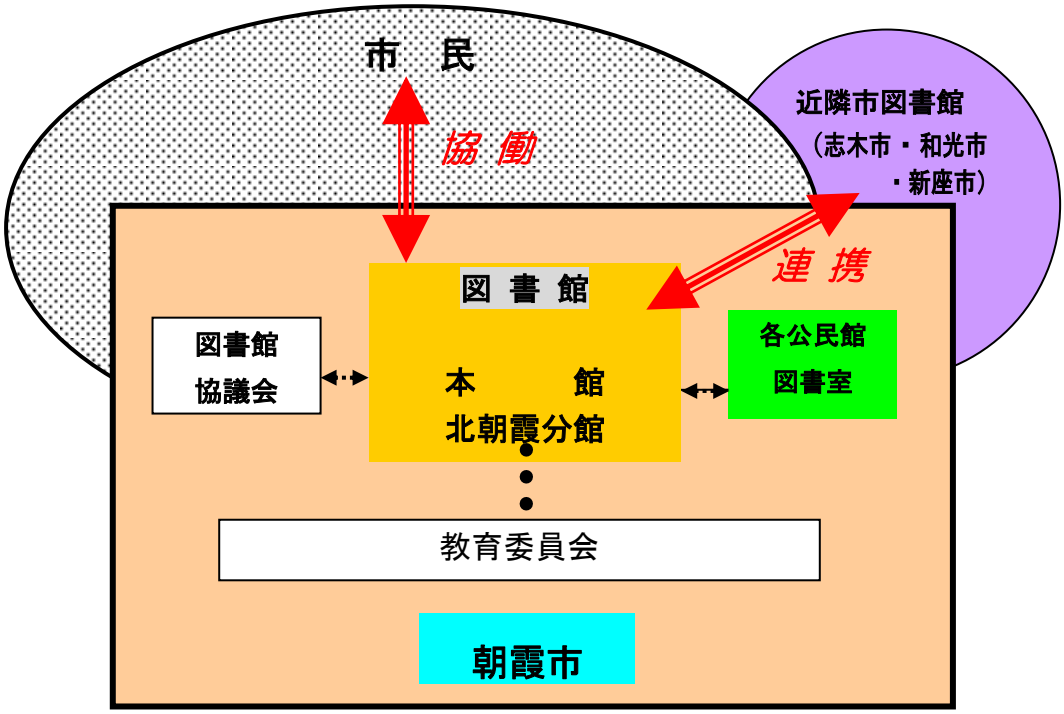
第５章　基本計画の推進に向けて

図書館サービス基本計画は、図書館や朝霞市の現状を検証し、今後のより良い図書館づくりに向け計画的・段階的に実施していく計画です。

第４章において、図書館サービス充実のための基本計画として、１．計画的な蔵書管理、２．資料・情報提供サービスの充実、３．利用者に応じた図書館サービスの充実、４．図書館機能の向上、の４点を掲げました。それぞれにサービス向上のための方向性を継続していくことを示しましたが、計画の実現にあたっては、各施策の費用対効果を考えつつ、より有効な展開を行う必要があります。

そのためには、計画に位置付けた様々な施策について、毎年度、点検や評価を行い、それを基に実情に即した対応や修正を加えていくことが重要です。各種統計資料（日常から得られる図書館としての実態）や、調査資料（来館者調査・蔵書評価・サービス等の水準）、量的評価（他図書館との比較・県内水準との比較）、質的評価（図書館利用の満足度、利用目的等を把握）により、図書館が自己評価を行い、計画の推進に継続して取り組みます。

また、図書館関係機関や地域団体、市民との協働を進めるとともに、継続的な職員の研修等を通じ、組織としての活性化を行い、常に時代に即した利用しやすい図書館としての体制を整えられるよう努めます。

なお、本図書館サービス計画については、今後の経済情勢や図書館を取り巻く状況の変化により、必要に応じて見直しを行うものとします。

【図書館サービス基本計画の推進イメージ】